

研修企画書

裴 鎬洙 (ペホス)
ミカタプラス
MAIL : contact@en-coach.com

【タイトル】

多職種連携ガイダンス～うまくいかないポイント3選～

【対象者】

- すべての医療・介護従事者
- 他の職種との連携で、苦い経験をしたことがあり、苦手意識がある方
- チームとして多職種連携がうまくいくポイントを学びたい方

【受講で得られる主なメリット】

- 連携相手の事情や特性を踏まえて、連携ができるようになる

【コンセプト（概要）】

多職種連携がうまくいくチームは、報告・連絡・相談がスムーズに行えるため、必要な情報をタイムリーにチーム内で共有することができ、変化にも迅速に対応することができます。

ところが、他の職種との連携に苦手意識を持っている方や、負担に感じている方の声を聞くことがあります。その中には、行き違いから関係性にヒビが入り、連携にストレスを感じて、取引自体をしたくないと思う担当者や相手機関があるというケースも耳にします。

そうした実態を踏まえて提供するこちらの研修では、より効果的に多職種での連携ができるようになる上で、押さえておくべきポイントを学びます。様々な機関・職種との連携経験が豊富な講師が、理論・理屈だけでなく、エピソードも交えて紹介し、リアルな多職種連携の課題と解決ノウハウを学ぶことができます。

【所要時間】

基本 2 時間（60分～180分で調整可）

【講師料】

参加人数・時間により応相談

【内容】

1) 多職種連携の大前提

- ・ 何のために連携するのか
- ・ そもそも連携とは何か
- ・ 連携によって何が可能になるか

2) 連携がうまくいかないポイント

- ・ ポイント①「連携相手をよく知らない」
（開業医と勤務医の違い、外来看護師と病棟看護師の違い、等）
- ・ ポイント②「階層意識に縛られている」
（別組織の看護師を部下のように扱う医師、看護師に緊張する介護職、等）

- ・ポイント③「基準」を決めていない
（連携のタイミング、モニタリングの基準、等）

3) ワークショップ：中間振り返り

- ・ここまでの内容を踏まえた感想の共有
 - ▶これまでの連携の振り返り（気づいたこと、考えたこと、等）

4) 連携を円滑にする具体的方法

- ・連携関係を組む時に確認すること
- ・「報連相」の作法
- ・電話・メールの作法 等

【研修実施の流れ】

- ①お問い合わせ
- ②お打ち合わせ（研修目標・内容・日時・講師料等の確認・合意）
- ③事前準備物の確認
- ④研修実施・アンケート回収
- ⑤請求・お支払い